



第5回東北大学脳科学グローバルCOE キャリアパスセミナーの お知らせ

キャリアパスセミナーでは、主に、生命科学で専門教育(主に修士以上)を修められた上で、アカデミックとは異なるキャリアを積まれた方を中心にお招きして、御経験をもとに、キャリア形成について語って頂きます。第5回は、産学連携の現場でキャリアを積まれている講師の方をお招きします。

日時 2009年3月6日(金)17:30～19:00

会場 星陵キャンパス・1号館2階 第二セミナー室

演者 高橋 真木子 先生

(東北大学研究協力部(特定領域研究担当)総長室付 特任准教授)

演題 「研究と社会の接点に立つ仕事・・・産学連携を担う実務者の現場紹介」

講演概要

イノベーション創出の源として、社会の中での大学の立ち位置が問われるようになってきました。研究者自身もその視点を持つことが求められています。

民間企業等との共同研究マネジメントや、特許をツールとした技術移転等、“研究成果を社会に出していく、学と産の接点の仕事”のおもしろさや難しさを、バイオ分野の修士終了後、研究財団と2つの国立大学での業務を通じて得た視点からご紹介します。

自然科学系の研究者にとっても、これが挑戦しがいがある仕事ということが理解できると思います。

演者略歴

東北大学農学部学士、横浜市立大学木原生物学研究所修了(理学修士・細胞遺伝学)。1993年(財)神奈川科学技術アカデミー(KAST)入団。1998年より研究成果の特許化、企業との共同研究交渉、ライセンスなどの技術移転活動に従事。2004年東京工業大学産学連携推進本部知的財産・技術移転部門特任助教授を経て、2006年9月より現職。主に、複数の研究分野をまたぐ産学連携プロジェクトの企画・運営、複数企業との共同研究コンソーシアム、その成果活用方針策定などを担当。

*聴講は、脳科学グローバルCOE関係者に限らず、どなたでも歓迎します。

連絡先:脳科学GCOE事務局(長神風二)内線7908